

121 チゴモズ

(スズメ目)

Lanius tigrinus

兵庫県ランク: 調

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク: CR

種の概要

シベリア南東部から中国東・北東部、朝鮮半島、日本などで繁殖し、繁殖後はマレー半島から大スンダ列島などに渡り、越冬する。日本では本州北・中部で繁殖するが、個体数は少なく分布は局所的である。春秋の渡りの時期には本州南西部、四国、九州を通過する。平地から丘陵地の広葉樹林や混交林の林縁部に生息し、昆虫類やクモ類などの小動物を捕食する。

国内分布

北海道、礼文島、焼尻島、天売島、渡島大島、本州北・中部、飛島、佐渡、舩倉島、本州南西部、隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、男女群島、甌島列島、草垣群島、種子島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、西宮市、宝塚市



写真提供：片岡宣彦

(性別：オス)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね ぐ 特 殊 ら 休 息 環 境	局 地 的 繁 殖	希 少
○	○								○

県内における生息状況およびその他特記事項

要注目ランクから要調査ランクへ変更。

県内では主に4-6月と8-9月に記録がある。1960年代には神戸市で毎年観察されているように、古くから県南部では渡りの時期に記録があり、数の少ない旅鳥と考えられていた。しかし、1975年以降は公にされている記録は極めて少ない。また、日本鳥類目録改訂第8版では兵庫県は迷鳥としているため、要調査ランクに変更した。

保護上の留意点

都市環境下で損なわれている平地から丘陵地、低山地の自然環境の残る明るい林の再生が必要。